

「高校生と大学生の夢を語ろう！」

村田愛子 ファッションショー

7月1日(土)地域に開かれた大学」を目指し本学で初めてファッションショーを開催しました。
披露したのは、本学講師のデザイナー村田愛子先生で、「高校生・大学生の夢を語ろう」をテーマに、モデルには本学の学生10名と地元高校生8名の計18名が出演。
寝間着を兼ねるホームドレスを皮切りに旅行用のパンツスーツ、おしゃれコートなど、色、デザイン共に華やかな約

30点が村田愛子先生のトークに乗せて紹介されました。
中でも、オレンジ色など鮮やかな配色のウェディングドレスには、観客も夢心地でうっとり。蒸し暑さもものともせず、堂々と着こなしたモデルの頑張りに、村田先生は「自分が好きで選んだ道でも大変さは付き物。励まし合える友人をつくり、ぜひ夢をかなえて下さい」と話されました。



家庭教育講演会

講師 教育アドバイザー 小山田 勢津子 先生

花巻・北上の両市民を対象に、去る6月8日、8月29日の2回にわたり、本学6号館を会場に家庭教育講演会を開催しました。
講師は、東京あきる野市教育委員で教育アドバイザーの小山田勢津子先生。先生は、本学学長の奥様であり、日頃の教育相談での体験などで大学のお役にたてればと、引き受けて頂きました。
第1回目は、「いい子を育てるために」と題し、生きる力を育てるために、「体内リズムの確立」「食生活の安定」などについて話されました。
そしてなにより「家族が温かい関心を持ち合うこと」「誉めると叱るのバランスをもつコ

ミュニケーション」が大切であることを指摘されました。小さな子どもを持つお母さんから真剣な質問がされたり、地域の教育指導をされている方からの質問もあり、熱心さがうかがわれました。
第2回目は、「受験エリートより本物のエリート」と題し、「社会が求める人材と能力」それを養う家庭での親子のあり方について、「過剰期待と過密スケジュールでは、良い子ほど息切れしてしまう」事例をもちいて、家族が互いに関心をもちながら、「話を聞き、学ぶ姿勢をもって、助け合う力と、失敗から学びやり直す勇気をもてるよう」生涯学習のなかで、「回り道の必

要性と楽しさを話されました。どちらも60名ほどが聴講され、盛会でした。
今後も、本学は、「地域に

開かれた大学」として、そのもつ教育機能を地域に還元していくよう努めてまいります。



Soccer World Cup ワールドカップ 公認キャンプ地 正式決定

日本と韓国が、2002年に共同開催する「ワールドカップ」の日本組織委員会は、11月22日、公認キャンプ候補地を承認した。その中に、本学の所在する「花巻市」も含まれている。
今後、花巻市では誘致実行委員会を設立し、パンフレットを作成、各国大使館へのPR活動を行うなどし、本格的に海外チームの誘致活動を展開する計画だ。
花巻市のキャンプ地は、メイン練習場を天然芝4面がある「スポーツキャンプ村」とし、又、雨天の場合の練習場として、屋内300m陸上競技トラック・50mプール、人工芝練習場を備える富士大学の「スポーツセンター」を含めたものとして、正式に承認された。
日本組織委員会は、来年6月には公認キャンプ候補地リストを完成させ、ワールドカップ出場32チームがこのリストを参考に、大会前や大会中のベースキャンプ地を決定する。

北上みちのく芸能まつり、花巻まつり

北上芸能まつり

8月7日(月)、北上みちのく芸能まつりに本学が初参加しました。
今回、北上市相去町(株)

佐藤組さんのお誘いを受け実現。学友会を先導とし、卓球部・柔道部ほか、総勢100名の参加者となりました。



北上みちのく芸能まつり

花巻まつり

9月8日(金)から10日の3日間、花巻まつりが開催されました。
本学では、23年前から参

加しており、年に一度の恒例行事となっています。小雨の降りしきる中、樽神輿・提灯神輿の2基を出し、学生約



花巻まつり

100名と教職員は、紫の半天に身を包み、手作りのお守り、うちわを持って市内を練り歩きました。
学生のパワーには圧倒されます。沿道の観客にも、ワッショイワッショイと声をかけ、パレードを盛り上げていました。

平成12年度 紫陵祭を終えて 大変だけど充実感

実行委員会 広報部長 荒井敏隆 (経営法学科1年)

今年の紫陵祭は、私を含めた実行委員にとって初めての取り組みでした。夏休みに数人で、パンフレットを作成しながら企画を考えるという前代未聞なやり方で始めました。

私は、広報部長として学内・学外の広報やスポンサーとの交渉を担当しました。タレントを呼ぶための企画会社との交渉、ステージカーやシ

ャトルバスの手配、また、ガス会社、レンタル会社との直接交渉など重要なポジションだったので、責任が重くのし掛かり、負担に感じたこともありました。しかし、企業との交渉を進めるうちに、新たな企画が生まれたり、景品の無料提供やシャトルバスの無料運転等のバックアップを頂けることになりました。こうした支援を頂いたことに喜びを感



じたとともに、私には、誇れる気持ちも湧いてきました。
ご支援ご協力を頂いた企業をはじめ展示や模擬店を出店してくれたみなさん、また、共に歩んだメンバーに感謝しています。
これからも頑張ります。よろしくお願いします。



OB から一言 頑張っていますOB

早いもので、卒業してから20年が過ぎようとしています。学生時代を振り返ってみるとまさきに思い出すのは「野球」のことです。4年間明けても暮れても野球でした。今思えば、本当に野球を4年間続けてよかったと思います。当時は、一般学生と同じ様に遊びたい、練習が辛くて辞めたいと何度も思いました。もし途中で辞めていたら今の私はなかったと思います。辞めずに4年間続けた甲斐あって全国大会に2度も出場することができ、現在の職場にも、野球をしていたことで入社できました。今私は、会社でも、子供たちにも自信をもって、学生時代は「野球」をやっていたと胸を張って言えます。
学生の皆さん、何か一つ、社会に出て自信をもって言えることを見つけて下さい。そして、4年間の学生生活を楽しんで下さい。
最後に、富士大学の先輩の皆様、後輩の皆さん、色々な所で会えることを楽しみにしております。

昭和56年度卒業
永山秀治 氏
東芝情報機(株)東北支社



広報委員会よりお知らせ

皆さんのご意見、ご希望をどしどしお寄せ下さい。

連絡先は広報室まで
原 久雄(広報室長) 井手 俊一(広報室課長) 田中 博・小田桐 憲仁・高橋 直樹(広報室)
E-mail kouhou@fuj-u.ac.jp

この紙は再生紙を使用しております。

広報

富士大学

Vol.2

2000.12.10 発行

富士大学 経済学部 / 経済学科・経営法学科 〒702-8501 岩手県花巻市下根子450-3 TEL 0198-23-6221 FAX 0198-23-5818 http://www.termnet.co.jp/fujidai

出会い
日本大学生訪韓研修団
参加にあたって
市民セミナー
イギリス滞在記
小学生と交流
富士大スポーツ
高校生が熱闘
地区父母懇談会
村田愛子
ファッションショー
家庭教育講演会
ワールドカップ公認
キャンプ地正式決定
北上みちのく芸能まつり
花巻まつり
紫陵祭を終えて
OBからの一言



出会い

人との出会いの大切さを実感した学生生活

原田真児君(4年 ボクシング部主将 八戸工大二高出身)



彼の大変な苦労と努力、そして多くの人々とのかけがえのない出会いがあったようです。
入学時、ボクシング部は同好会として発足したばかりで、試合に出場したくても練習はおろか何一つ道具もない、人数も少なくスパarringもできない状態でした。
しかし、スポーツ振興を掲げる富士大学、そしてボクシング王国岩手ということもあり、徐々に各方面 高校の監督・地元花巻の指導者)のご好意で、練習場を借用しながら活動を続けてきました。特に花巻ボクシング協会には、すべての面において支えていただき、とても感謝しているよう

です。
今年度、ボクシング同好会はボクシング部への昇格が承認され、部員も15名となり、新たなスタートを切りました。
彼はこう言っています。「私たちのこれまでの活動は無駄ではなく、自信を持つことができた」。さらに「ボクシング部として何よりも嬉しかったのは、早々にリングを設置していただいた事です」。
そのリングは9月末にスポーツセンター2階に完成しました。
リングに関しては、岩手県アマチュアボクシング連盟、水沢市、水沢工業高校ボクシング部のご協力をいただき、また設置にあたっては、北上

市のオーテック株式会社の全面的なご協力を得て、実現することができました。その他、岩手県高校体育連盟からグロブの寄付を受けるなど、たくさんの方々のご支援をいただいています。
「学業のみならず、このような学生の活動に対し、大きな理解を示してくださる理事長、学長のもとで、私たちは学生生活を過ごしていることを忘れてはならないと思います。そして、人との出会いの大切さを痛烈に思い知らされた大学4年間の経験は、これからの私の人生にとって大きな財産になると思います」。
「私は富士大学の学生であることを誇りに、来春、胸を張って社会に出て行きます」。
そう言った彼の顔は、新たな自分を見つけ、自信に満ち溢れていました。
(広報室 小田桐)

